

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 3 月 4 日

Table with columns for 事務事業名, 歴史的風致形成建造物修理事業, 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0305 文化財の保存・活用, 主要事業, 所属課, 060201 都市整備課, 財務会計上の位置付け, 事業期間, 予算科目, 一般会計, 期間限定複数年 (平成23年度~平成29年度), 法令根拠, 地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the historical wind direction maintenance plan and repair work.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標). Includes rows for activity indicators like '指定件数' and '修理する歴史的風致形成建造物件数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 26年度 (実績), 27年度 (実績), 28年度 (計画), 29年度 (目標), 30年度 (目標), 期間限定総投入量. Includes rows for 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), 正規職員従事人数, 人件費, トータルコスト (A)+(B).

Table with 4 columns: 27年度事業費 実績 (千円), 28年度事業費 予算 (千円), 合計, 721. Includes rows for 01 報酬, 09 旅費, 11 需用費, 15 工事請負費.

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 28年度の事業内容, 29年度の事業内容, 30年度の事業内容. Includes implementation details for '旧高久家納屋の修理設計' and '歴史的風致維持向上計画の変更'.

| | | | | | |
|-------|----------------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | 歴史的風致形成建造物修理事業 | 事務事業No. | 30501000902 | 所属課 | 都市整備課 |
|-------|----------------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|---|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 桜川市歴史的風致維持向上計画に基づき、修理が必要な登録有形文化財を、歴史的風致形成建造物に指定し、年間1~2棟修理する予定であったが、東日本大震災により多くの登録有形文化財が被災したため、災害復旧を目的とした修理工事を平成23年度から実施している。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 登録有形文化財は、修理費補助制度が無いため、何らかの修理費の補助が求められている。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

| | |
|-----------|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 歴史的風致の維持及び向上は文化財の保存・活用につながるため |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 歴史的風致形成建造物の外観は、地区の景観を形成しているため |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 真壁地区が国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受けたため、歴史的風致維持向上計画を変更し、新たな計画内容を策定する必要がある。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 取り壊される歴史的建造物が増え、地域の景観に大きな影響を及ぼす |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他事業は登録文化財の修理費補助がないため、あとは一般財源のみの事業となる |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 工法、仕様とも文化庁と事前調整しているため、削減はできない |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 登録有形文化財の規制部分についての補助であるため、地域の景観の維持につながる |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|---|----|--|--|---|----|--|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 東日本大震災からの復興のため各種事業を検討しながら進めているため、継続的な支援が必要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | ○ | 維持 | | | × | 低下 | | | × |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 現行の歴史的風致維持向上計画が真壁地区の重要伝統的建造物群保存地区選定を受ける以前ののものであり、策定当時計画年次である10年が近付こうとしているため、計画変更を行い、更に必要な事業を実施できるようにする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑨ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> |
|--|---|